

「夏の夜の恋路物語」

8月8日(土)

18:00～21:00

恋路海岸

約700年前から語り継がれている悲恋物語
かがり火や松明のあかりの下
結ばれることのなかった男女は今
恋路海岸で寄り添い永遠の時を刻む
「恋の聖地・恋路海岸」
ここから新しい恋物語が始まる

恋路が浜と弁天島を5千個のロウソクの灯りで飾ります
小学校児童などの縄文ランプシェードも海岸に飾られます

【イベントプログラム】

点灯式	18:00
石川次郎・三春千恵子 ミニコンサート (ふたり舟)	19:00
弥栄太鼓	19:30
珠山流舞踊「恋の彩り」	20:00
中川さや ミニコンサート (奥能登恋しぐれ)	20:30
恋路相撲甚句と縄文女組太鼓	21:00

【写真コンテスト】

能登町観光協会 応募先
能登町字宇出津ト字53 能登町観光協会 街の駅ぽっぽ家
☎62-2117
八つ切りサイズでプリントしたものに限る(3点まで) 写真規格
港町 宇出津灯りフェスティバルの会場 発表
能登町の宿泊施設にペアでご招待など 賞品
☎能登町観光協会事務局 ☎62-8532

能登町5周年記念

「キリコと灯りの祭典」

8月22日(土)

柳田植物公園

【プログラム】

郷土芸能
歌謡ステージ
キャラクターショー
花火大会など

☎実行委員会 (植物公園内)
☎76-1680

「港町 宇出津灯りフェスティバル」

9月20日(土)

【「灯りコンテスト」参加者募集】

寺社、広場、公園をガラスコップとロウソクで
灯りの空間として演出してみませんか

企業、町内会、グループなど何人からでも

表彰(優秀賞・参加賞)あり
※ガラスコップとロウソクは事務局で用意します

☎能登町商工会 ☎62-0181

蔵コンサート

7月から10月にかけて、造り酒屋や漆器蔵、寺など能登半島16カ所の蔵を舞台にジャズから邦楽、浄瑠璃など多彩なコンサートが開催されます。落ち着いた雰囲気の中で醸し出されるアーティストたちの調べをお楽しみください。

【開催スケジュール(能登町)】

松波酒造蔵／フォーク&ポップス

9月12日(土) 18:30～
出演者：PALMER
定員：50人
料金：2,000円(ドリンク・お土産付)
申し込み：松波酒造 ☎72-0005

数馬酒造蔵／音風流

10月24日(土) 15:00～
出演者：しらい みちよ
定員：60人
料金：3,000円(お土産付)
申し込み：数馬酒造 ☎62-1200



平成17年度から20年度の4年間で

歳入「37億2千万円」を改善

能登町行政改革大綱に基づき平成17年度から21年度（5年間）までの実施計画を策定し、行政改革の取り組みを進めています。20年度までの4年間で約37億2千万円を改善しましたが、その概要をお知らせします。この実績を踏まえ、今後も計画の見直しを含めた取り組みを強化していきます。

平成17年度～20年度の実施計画に係る取り組み実績（主なもの）

【単位：万円】

取組事項	効果額など（見込み）					
	H17	H18	H19	H20	合計	
① 組織・機構の合理化	保育所の統廃合（瑞穂、白丸）		206	392	392	990
	小学校の統廃合（白丸・三波・瑞穂・神野）	901	2826	3911	3911	1億1549
	中学校の統廃合（瑞穂）		715	715	715	2145
	職員の削減（92人）	1億3076	1億8162	3億3518	6億2136	12億6892
	管理職手当の削減（40%）	635	1164	1293	1136	4228
	特別職の期末手当の削減（30%、50%）		190	398	398	986
	町議会議員の期末手当の削減（20%）		334	347	347	1028
	一般職の期末勤勉手当の削減（20%）		1億7455	1億6788	1億5144	4億9387
	委員報酬の削減（10%）		670	670	670	2010
	55歳からの給料の段階的削減（2%～6%）			1654	1970	3624
② 窓口サービス等の向上	戸籍電算化	実施	→	→	→	—
	インターネットを利用した申請方法等の整備		検討	→ (申請書の充実)	→ (申請書の充実)	—
	住民票等の宅配サービス、電話予約による土日祝日サービス		検討	→	実施	—
③ 公共施設の適正管理と運営等の効率化	公共施設の指定管理者制度の導入（84施設）		4718	1億2429	1億3913	3億1060
	埋立処分場の休止（柳田）			533	533	1066
	内浦クリーンセンターの休止				実施 (H21.3)	
④ 財政の健全化による安定基盤の確立	団体運営補助金の削減（20%）		8126	1億3366	1億8972	4億464
	公社の統廃合・解散		940	1198	1198	3336
	イベントの見直し		955	1210	2455	4620
	前納報奨金の廃止		999	999	999	2997
	各種祝金の廃止・見直し（結婚祝金・在宅長寿祝金等）		2263	2168	2548	6979
	事務服貸与の廃止	576				576
	使用料手数料の見直し（ゴミ袋、斎場利用料金等）	1378	3006	3470	3350	1億1204
	税等の徴収対策の強化	4294	4612	7033	7330	2億3269
	墓地公園使用者の拡大	1159	548	593	622	2922
	遊休資産の売却	1090	1877	769	1177	4913
⑤ 事務事業の改善効率化	上下水道料金の適正化			2142	2964	5106
	宿日直業務の見直し（柳田・内浦庁舎の宿日直業務の廃止）	182	182	383	383	1130
	病院医療事務の外部委託の拡大		973	1125	2175	4273
	投票所・ポスター掲示場の見直し	588	590	1217	185	2580
	医療用物品管理の合理化			1450	500	1950

Interview



能登町行政改革評価委員会
主席 洲崎一男 会長

行革の成果をしっかりと確認したい。

わたしは、大綱の素案作りから参加しており、町の行政改革の委員として5年目を迎えました。

行革の中で必ず削減しなければならぬものとして人件費や公債費（借金の返済）などがあります。最初のころはいろいろな意見を出して指摘もしていましたが、この5年

間を見ていると公債費の削減にも相当の努力をしていますし、行革は着実に進んでいるといえます。人件費を含め非常に厳しいギリギリのところまで来ています。それでも類似団体と比較すれば数字的にまだまだ差があるので、心を鬼にして厳しい意見も出していかなくてはなりません。

りません。ほかの委員の皆さんも自分たちの町がどうなるのか心配し、真剣に発言しています。現在、町の財政が少し回復したことで、職員の危機感がゆるんでいるようにも見えます。厳しいことに変わりはなく、もう一度引き締めなければなりません。町民にも財政状況や行革の成果をしっかりと情報として提供することが大切です。今年の実施計画の最終年度になります。評価委員会での意見が反映されているか、5年間の行政改革が着実に成果を上げているか、しっかりと確認していきたいと考えています。

行政改革の中身を審議する評価委員会

行政改革に住民の意見を広く反映させることを目的に、公募委員を含む9人の委員で構成する能登町行政改革評価委員会を

設置しています。委員会では、実施している計画内容や取り組みの状況について審議します。

第1回評価委員会は7月21日に開催され、平成20年度の取り組みについて活発な意見が交わられました。

＜行政改革評価委員会＞

会長：洲崎一男さん
副会長：数馬雄晴さん
委員：橋本忠雄さん、桑名幸子さん、福池正人さん、新田豊さん、吉岡梅子さん、大路清子さん、中興七郎さん

新たな行政改革大綱を答申する推進委員会

本年度で5カ年の推進期間を終える能登町行政改革大綱と実施計画。それに代わる新しい大綱と実施計画を策定し、町長に答申する能登町行政改革推進委員会を設置しました。

6月29日には10人の委員に委嘱状が交付され、第2次行政改革大綱の策定に向けた審議がスタートしました。推進委員会は今後審議を重ねて、平成22年3月に新大綱を答申する予定です。

＜行政改革推進委員会＞

会長：船木正夫さん
職務代理：中谷伸夫さん
委員：吉田源兵衛さん、平野陽子さん、井前本隆さん、池岸雅弘さん、杉本一俊さん、三宅一宏さん、竹西フミ子さん、蔭田宗志さん



第1回の推進委員会の席上で、あいさつする持木町長

住民の声を行政改革に反映させるために二つの委員会を設置

行政改革評価委員会 行政改革推進委員会

衆議院議員総選挙

8月30日

7:00~

19:00

最高裁判所裁判官国民審査

◆投票時間 午前7時~午後7時

※第4・5・6・8・9・11・13・14・15・17・19・20・21・24投票区は午後6時まで

◆有権者について

平成元年8月31日までに生まれた人で、平成21年5月17日までに能登町に住民登録を行い、引き続き3カ月以上能登町に住所を有している人が有権者です。

◆入場整理券について

入場整理券は住民登録がある住所へ送付されますので、住民登録と現住所が異なっている人は、入場券が届かない場合があります。ただし、入場整理券がなくとも選挙人名簿に登録され、当日選挙権があれば投票できますので、選挙管理委員会までお問い合わせください。

◆不在者投票について

選挙人名簿に登録されている人で、現在出稼などで能登町以外に在住している人は、不在者投票をすることができません。該当する人は、事前に宣誓書（請求書）を取り寄せ、必要事項を記入し選挙管理委員会へ郵送してください。請求のあった現住所へ投票用紙および不在者投票用封筒などを送付します。

◆投票用紙は3種類あります

選挙は3種類あります。投票用紙の色は次のとおりですので、投票する際は間違えないよう注意してください。

- ・衆議院小選挙区選出議員選挙（桃色）
- ・衆議院比例代表選出議員選挙（浅葱色）
- ・最高裁判所裁判官国民審査（白色）

○期日前投票を利用しましょう



期日前投票では、宣誓書（請求書）に必要事項を記入し、投票用紙を直接投票箱に入れることができます。不在者投票のように不在者投票用封筒を使わないため、簡単に投票しやすい制度です。

投票日に仕事やレジャー、買い物などで出かける人や冠婚葬祭などで投票所に行けない人は、期日前投票ができますので、ぜひご利用ください。

開設期間中であれば、どの投票所でも投票することができます。

■期日前投票所の場所と開設時間

開設期間	投票所名	投票時間
8月19日(水)~8月29日(土)	能都庁舎 1階集会室	午前8時30分~午後8時
8月24日(月)~8月29日(土)	柳田庁舎 1階事務室	※午前8時30分~午後7時
	内浦庁舎 1階ロビー	
8月28日(金)~8月29日(土)	鶴川支所 図書室	※午前8時30分~午後7時
	小木支所 ロビー	

最高裁判所裁判官国民審査は8月23日(日)からの投票となりますのでご注意ください。

※柳田・内浦庁舎、鶴川・小木支所での期日前投票の開始時間を「午前10時」から「午前8時30分」に変更しました

■投票所は24カ所です。当日投票する人は投票所を確認してください。

投票区	投票所（予定）	区 域
第1	能都社会福祉会館（能都庁舎）1階集会室	宇出津の一部（天保島、天徳町、本町、大蔵町、浜町、酒垂町、大竹町、中組、桜町、三番町、中島町、浜小路、川原町、新村本町、新村浜町、昭和町、音羽町、小棚木、大棚木、城野町、城山）
第2	宇出津小学校 1階ロビー	宇出津の一部（仙人町、立町、横町、上田町、上町、中町、大橋組、錦町、栄町、上岩屋町、下岩屋町、漆原、梅ノ木、平体、大平、源平）、宇出津新港、藤波の一部（辺田ノ浜、柳倉）
第3	ひばり保育所 遊戯室	崎山、藤波の一部（四明ヶ丘）
第4※	三波公民館 集会室	藤波の一部（間島）、波並
第5※	矢波集会所	矢波、猪平
第6※	神野公民館 ホール	宇加塚、鶴町、曾又、藤ノ瀬
第7	鶴川公民館 図書室	七見、鶴川、小垣の一部（一の谷を除く）
第8※	瑞穂公民館 和室	柿生、瑞穂、俎倉、山田の一部（上三田を除く）、武連、本木、小垣の一部（一の谷）
第9※	宮地生活改善センター 集会室	宮地、鮭尾、山田の一部（上三田）、太田原、柏木
第10	柳田体育館	柳田、笹川、石井、国光、鴨川、五十里、十郎原
第11※	小間生公民館 会議室	上長尾、小間生、桐畑、鈴ヶ嶺、久田
第12	上町地区生活改善センター 和室	合鹿、上町、天坂、寺分、五郎左工門分
第13※	岩井戸公民館 会議室	黒川、大箱、北河内
第14※	当目地区多目的研修集会センター	当目
第15※	斉和多目的集会所	中斉、神和住
第16	内浦福祉センター 1階集会場	松波、恋路、明生、布浦
第17※	上区集会場	上、滝之坊、田代、駒渡
第18	不動寺公民館 集会室	宮犬、不動寺、行延、時長、山中、満泉寺、国重
第19※	秋吉公民館 集会室	九里川尻、秋吉、河ヶ谷、清真
第20※	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	立壁、四方山、白丸、内浦長尾、新保
第21※	能登勤労者プラザ 体育館	市之瀬、明野、越坂
第22	小木地区活性化センター ロビー	小木
第23	高倉保育所 遊戯室	姫、真脇、羽生
第24※	小浦地区集会所	小浦、羽根

※印の投票所は午後6時まで

■開票は午後8時10分から

開票作業は、午後8時10分から能都社会福祉会館4階大集会場で行われる予定です。

能登町選挙管理委員会（役場総務課内） ☎ 62-8510

NOTO INTERNATIONAL WOMAN'S OPEN TENNIS 2009

Sep. 6 to 13 at Fujinami - Ishikawa, Japan



観戦に来た子どもとふれあう佐藤さん

日本の将来を担う選手たちを温かく迎えてほしい。

動靴を持って観戦に来てくださいと強調しています」

—開催に向けた準備は

「今回は事前イベントにも力を入れていきます。大会に向けて徐々に盛り上がりが出ていくように能登国際の前イベントであることを全面に出して県内各地でテニスレッスンなどのイベントを開催しています。取材では北國新聞の特別協力を得ていますし、テレビ金沢でも大会前にドキュメント番組が放映されるこ

とが決まりました。

あとは大会プログラムも選手への質問などを充実させて昨年以上に読んで面白いものにしようと考えています」

—今大会への意気込みは

「能登町から『第3回の大会もぜひ佐藤直子実行委員長で開催したい』と申し入れがあり、能登の人たちとの温かいつながりもあって受けることに決めました。前回大会と一緒に頑張った強いきずなもあります。

3回目を迎えるテニスの国際大会「能登国際女子オープンテニス」は9月6日から13日の日程で開催される。前回大会から実行委員長を務める国際的テニスプレーヤーの佐藤直子さんに、今大会への意気込みを聞いた。

佐藤直子さん

Naoko Satou

能登国際女子オープンテニス 2009
トーナメントプロデューサー

—前回大会を振り返って
「わたしは前回大会は成功だったと考えています。まず予選から徐々に盛り上がりを見せてくれました。シングルス、ダブルスともに日本人が残ってくれたことも大きかったと思います。プロテニス協会が日本で大会を開催する理由の一つに日本の選手が世界に羽ばたくステップにしてほしいということがあります。そういった意味でも日本人が頑張ってくれてうれしかったです。」

—能登国際の魅力は
「この大会の魅力の一つに選手とボールが打てるということがあります。昨年は現役を引退したばかりのイギリスの選手のコーチがレッスン参加者の目の前で200ポンドのサーブを見せてくれたり、教えてもらったりしました。これは実はすごいことですよね。今年はどういった魅力もアピールしてラケットと運

—参加予定選手は
「昨年のポスターに使った瀬間選手は参加してくれる予定です。あとは昨年決勝に残った飯島選手のほか昨年来てくれた選手の多くは参加すると思います。今年も中国の選手も多くエントリーしそうです」

—大会の見どころは
「これだけのトーナメントが近くにあるのに見に来ないのは大損です。彼女たちは将来の世界一を目指している選手。テニスをやったことがない人でも、その真剣なプレーやまなざしを見るだけで価値があります。プレー中は動かないようにするとか拍手のタイミングなど、テニスはほかのスポーツに比べて観

2万5千ドルの大会とは思えないものでした。あの盛り上がりは『東レ・パン・パシフィック』※にも負けてないと自負していますが、今年さらには盛り上がるようにしたいですね」

—反省点は
「反省点はもつとたくさんの人に観戦に来ていただきたかったということです。あと、昨年わたしが腰を痛めてレッスンに参加できなかったもので、今年は皆さんと一緒にテニスをしたと思います」

—町民の皆さんへメッセージを
「能登町の皆さんには、日本の将来を担う選手、海外から集まってくる選手たちを温かく迎えていただければと思います。一番温かく迎える方法は、たくさんの方の観客の中でプレーさせることです。選手は観客が多ければ多いほどいいプレーを見せてくれます。ぜひ会場に足を運んで観戦してください。そしてテニスを体験してください」

【PROFILE】 さとう・なおこ
東京都出身。高校生で全日本室内に優勝。高校卒業までに優勝カップの数は100を越す。日本の女子選手として初めて世界のプロテニスツアーに参戦し国際的なプロテニスプレーヤーとして、世界のプロトーナメントを渡り歩く。全豪オープンダブルス準優勝、シングルスベスト8。ウインブルドン出場17年など。日本プロテニス協会の第一号女子会員。
トーナメント引退後、スポーツキャスターとしても活躍し、現在はテレビ・ラジオに出演する傍ら講演・執筆活動にも力を入れる。文部科学省・子供夢基金の助成による『親子触れ合いテニス交流・体験』を日本全国各地で展開。
役職：日本プロテニス協会理事
渥美国際交流奨学財団理事
日本スポーツ仲裁機構理事
日本体育協会・生涯スポーツ委員会委員など多数

五色ヶ浜海水浴場海開き
今年もやってきた海水浴の夏

夏の訪れとともに、全国各地で海水浴シーズンを迎えています。7月20日、町内唯一の公営海水浴場となる五色ヶ浜海開きが行われ、新保地区の壮年団「壮新会」の会員や関係者らが今シーズンの無事故を祈願しました。

この日はあいにくの小雨となりましたが、スポーツ少年団の交流で訪れていた富山県南砺市福野支部と能都支部の子どもたちが元気いっぱい海水浴を楽しんでいました。

今年の遊泳期間は8月20日までで、監視員2人が午前10時から午後4時まで海水浴客を見守ります。



厳かに神事を行う松波神社の橋宮司

子どもたちに紙芝居を読み聞かせる生徒



わく・ワーク体験（柳田中学校）
夢に向かって踏み出す第一歩

中学2年生が町内の事業所で職場体験をする「わく・ワーク体験」は、職場での仕事を通して働くことの大変さや喜びを体験し、自分たちの将来について考えてもらおうと実施されています。柳田中学校では6月23日から3日間、町内18カ所の事業所で行われました。

上町保育所では4人の生徒が子どもたちに紙芝居を読み聞かせたり、一緒に遊んだりしていました。将来保育士になりたいという岩住さくらさんは「小さい子の面倒の見方など勉強になりました。やっぱり保育士になりたいです」と話していました。

大屋宗華さんのお茶を味わうアメリカの中学生たち＝郷土館で



PTPプログラム石川 in 能登町
日本のもてなしの心学びました

アメリカの青少年育成団体「ピープル・トゥ・ピープル」の派遣事業により、6月13日からアメリカ人中学生28人が能登町を訪問し、海の生物観察やブナ林散策などを楽しみました。

15日に遠島山公園の郷土館で行われた茶道体験では、宇出津公民館で茶道教室の講師をしている大屋宗華さんが「感謝の気持ちでお茶をお出ししています」などと話しながら作法を指導。中学生たちは、初めての体験に戸惑いながらも日本文化の一端に触れました。この後、広島や京都、大阪などを訪問し21日に帰国しました。

自衛隊「南極の氷」を鶴川中に提供
数万年の時を越え今ここに

▶何十万年の年月を経て降り積もった雪が押し固められてできる「南極の氷」を観察用に細かく砕く



▼小板課長の説明を真剣に聞く生徒



自衛隊は地球温暖化などの環境問題について考えてもらおうと全国の学校に「南極の氷」を提供しています。海上自衛隊所属の砕氷艦「しらせ」が南極から持ち帰ったもので、7月17日には鶴川中学校にその「南極の氷」が贈られました。生徒代表の三井太一君に氷が手渡された後、自衛隊石川地方協力本部の小板課長が「南極大陸の氷が全て溶けると海面は70センチも上昇します。未来を担う皆さんに温暖化についてしっかり考えてもらいたい」と話しました。

この後、生徒たちは実際に「南極の氷」を手にとって口にしたり、氷を水に溶かして2万年以上前の空気が弾ける音に耳を傾けたりしていました。

奥能登トリア蔵3周年記念イベント
新たな魅力を発信する博物館

民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会（中興七郎会長）が、埋もれている歴史文化などを掘り起こし、奥能登の魅力を県内外に発信しようと取り組む「プチ・ミュージアムの郷プロジェクト」。これまでに4館の「奥能登トリア蔵」が整備され、現在も調査研究が進められています。

3周年記念イベントが行われた7月18日、新しく松波城趾情報館の館主となった畑中雅美さん＝寺分＝は、能登産の米粉で作ったシフォンケーキ12種類を販売。「今後は地元の野菜も使って地産地消にも貢献していきたい」と話していました。



旧松波駅舎らしく、鉄道写真も展示された松波城趾情報館

石川県スクールシアター
芸術鑑賞で豊かな心をはぐくむ

6月30日、能都体育館でスクールシアターが開催され、町内の小学4年生から6年生約420人が演劇を鑑賞しました。

スクールシアターは、子どもたちに優れた舞台芸術を直接鑑賞する機会を提供しようと石川県芸術鑑賞推進委員会が主催するもので、本年度は大阪府の劇団コーロによる「三匹の子ぶた」が上演されました。おなじみの劇をベースに、歌や踊り、笑いを交えながら「食べること」「生きること」など大切なテーマを訴える劇団員。その迫真の演技を通して、子どもたちと心を通わせた素晴らしい公演となりました。



「三匹の子ぶた」を演じる劇団コーロの皆さん

法務大臣のメッセージを読み上げる喜多文男さん



第59回社会を明るくする運動
犯罪や非行のない社会を目指す

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深めて明るい社会を目指す全国的な運動で、毎年7月を強調月間と定めています。7月1日には保護司9人が能都庁舎を訪れ、持木町長に法務大臣のメッセージを伝達しました。

保護司会犯罪予防活動部会長の椿原安弘さんは「宣伝活動を通して運動を理解してもらい、犯罪のない安全な社会を作りたい」と運動への理解と協力を求めました。伝達式終了後、保護司の皆さんは町内各地域へ街頭宣伝活動に向かいました。